



令和7年度 小樽商科大学学術研究奨励事業
第20回「学生論文賞」

国立大学法人 北海道国立大学機構 小樽商科大学
グローバル戦略推進センター教育支援部門

目 次

総 評.....	1
審査結果一覧.....	2
ヘルメス賞及び優秀賞講評	3
審査員一覧.....	6

総 評

学生論文賞実施委員会
委員長 須永 将史

今年度は、学部生部門に 47 編の応募がありました。所属学科の内訳は、商学科から 20 編、社会情報学科から 16 編、経済学科から 7 編、企業法学科から 4 編の応募となりました。

審査については、2 段階審査で行いました。第 1 次審査は、多分野の研究に携わる 30 名の教員が、学術横断的な視点からプレゼンテーションの審査を行いました。第 2 次審査は、第 1 次審査を通過した 19 編について、論文内容に関連した研究に携わる 28 名の教員が論文の審査を行いました。

厳正な 2 段階審査の結果、大賞となるヘルメス賞 1 編、優秀賞 3 編、奨励賞 5 編、発想、着想、技術、論題、文章構成、構成美等際立って卓越した論文に授与される特別賞 1 編、第 1 次審査のプレゼンテーションで最上位の得点を得た論文に授与されるベスト・プレゼンテーション賞 1 編となりました。

今回の応募論文は、身近な気づきを研究へと昇華させたものから、今日の日本社会や地域社会が直面する重要な課題に真正面から取り組んだものまで、きわめて幅広いテーマが取り上げられました。本年度は応募総数が 47 編にのぼり、前年度を大きく上回る応募が寄せられましたが、いずれの論文からも、問題意識の明確さと粘り強い探究姿勢が感じられました。とりわけ、小樽をはじめとする北海道地域に関わる論文が全体の約 3 分の 1 を占めており、地域社会への関心と貢献を重視する社会科学系大学としての本学の特色が、研究テーマの選択にも表れているように見受けられました。

研究手法の面でも、本学で学んだ理論や分析方法を基盤としながら、各自がそれを自らの問題関心に即して応用・発展させており、全体として高い水準に達していると感じました。なかでも受賞論文は、問いの立て方の明晰さ、資料・データの扱いの的確さ、そして分析と考察の深度において卓越した成果を示していました。はじめて本格的な論文執筆に挑み、構想から資料収集、分析、推敲に至るまで創意と努力を重ねた経験は、必ずや皆さんの血肉となり、今後の学修や社会生活のなかで大きな財産となることでしょう。本論文賞がその挑戦を後押しする機会となったことを、心より嬉しく思います。

第 20 回という節目を迎えた本論文賞が、今後も学生の主体的な研究活動を支え、本学の学術的伝統をさらに発展させていくことを期待しています。

今年度もご多忙な中、本論文賞の開催・審査にご協力いただいた教職員の皆様に厚く御礼を申し上げますとともに、来年度もなにとぞご協力賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、本論文賞の実施に当たりまして、株式会社北洋銀行様より例年と変わらぬ多大なご支援を頂戴しました。記して深甚なる謝意を表します。

審査結果一覧

ヘルメス賞

限定性マーケティングの長期的ブランドロイヤルティに対する影響に関する実証分析
—カフェの期間限定メニューとブランドロイヤルティ形成を手がかりに—

田中 玲奈

優秀賞

キャラクターの着せ替えイメージによるDTM(DeskTop Music)音色プリセット
管理手法の提案

阿部 瑞稀

自治体PDF文書に含まれる図表解析における課題分析

小笠原 廉
高橋 孝輔

視聴動機と動画形式の「フィット」に基づく動画視聴行動の拡張モデル
—プロ野球動画を対象に—

菊池 巡

奨励賞

農林業基準技術文書を対象としたLLMによる表構造認識の性能評価

中村 彩乃

札幌市「すすきの」におけるプレイスブランド形成メカニズム

竹村 大

厚岸ウイスキーにみる地域ブランディングの形成過程
—外発的ブランディングによる地域アイデンティティの再編成—

浪江 舞優
林田 凌征
八木 蓮太郎

気候・宗教・文化の複合要因によるフードロス発生構造の国際比較分析
—QCAを用いた多面的検証—

佐野 瞭斗
那須 唯花
高柳 睦香

特別賞

農林業基準技術文書を対象としたLLMによる表構造認識の性能評価

中村 彩乃

ベスト・プレゼンテーション賞

農林業関連の文書に含まれる図表を対象とした質問応答に向けた分析

杉山 陽菜乃

ヘルメス賞及び優秀賞論文講評

ヘルメス賞

「限定性マーケティングの長期的ブランドロイヤルティに対する影響に関する実証分析
—カフェの期間限定メニューとブランドロイヤルティ形成を手がかりに—」

田中 玲奈

本研究は、カフェ業界における期間限定メニューが、顧客のブランドロイヤルティにいかなる影響を与えるのかを明らかにしたものである。ブランド論の観点から共分散構造分析を用いた定量的分析を行い、理論的な精緻化に取り組んだ意欲的な作品で、研究の独創性・新奇性は高く、優れた作品である。筆者はブランド論における希少性の概念に着目し、顧客の特定ブランドへの愛着がどのようなメカニズムで形成されるのかを研究課題として、一時的な話題性を長期的なブランドロイヤルティに昇華するためのブランド戦略の一助になる点が実務的貢献になると考えられる。本研究で得られた興味深い知見は、カフェ業界のみならず、様々なサービス業界にも応用可能なものであると推察されるとともに、論文として非常に高いレベルにあるため、本研究はヘルメス賞に値する。

優秀賞

「キャラクターの着せ替えイメージによる DTM(DeskTop Music)音色プリセット管理手法の提案」 阿部 瑞稀

本論文は、楽曲制作における「音色（音源）選択の模索」と「ミュージックビデオ（MV）制作のハードルの高さ」という二つの課題に対し、「着せ替えゲーム」のコンセプトを導入することで解決を図る極めて独創的で意欲的な研究である。

最大の評価ポイントは、抽象的な音色セットを「キャラクターのコーディネート」として視覚化し、直感的な管理・想起を可能にした着眼点である。実装面においても、単なるアイデアに留まらず、C++と JUCE フレームワークを用いて、パラアウト構成やテンポ同期など、実務的な音楽制作に耐えうる VST プラグインを完成させた技術力が評価できる。

また、WISS 2025 でのデモ発表を通じた評価実験では、特に、初心者層から音楽制作の心理的障壁を下げるツールとして高い支持を得ており、その有用性が客観的に裏付けられている。さらに、Unity を用いた MV 制作ソフトとの連携により、MIDI 信号でキャラクターを動かすという「楽曲から映像までを統合する創作システムの提示は、今後のデジタルコンテンツ制作の新たな方向性を示すものである。技術と遊び心を高度に融合させた本アイデアの将来に大いに期待する。

「自治体 PDF 文書に含まれる図表解析における課題分析」

小笠原 廉
高橋 孝輔

本論文は、小樽市が公開する PDF 資料を対象に、表・図・テキストに含まれる「自動解析を難しくする構造的要因」を整理し、今後の図表解析・情報抽出に資する分析枠組みを提示した研究である。

本研究の新規性は、モデル性能比較に先立ち、行政文書側の「難しさそのもの」を課題ラベルとして体系化し、ページ単位の手アノテーションにより出現傾向と共起（複合出現）を定量化した点にある。

その結果、セル結合・非スカラ値、複数の表、縦横書きの混在、図表外の注記といった要因の出現頻度が高く、複数の要因が同一ページで重なる実態が明らかになった。これらは人間には直感的でも、LLM による解析・抽出においては、曖昧性や意味の非明示が障壁となり得ることを示唆し、評価軸の整備や下流応用（自治体文書の構造化・検索等）の設計に資する。

なお、本研究は単一自治体の資料に基づくため、外的妥当性には限界があり、対象の拡大と手続きの精緻化が今後の課題となる。もっとも、資料収集から設計・分析までを一貫して完遂した実行力は学部生として高く評価でき、以上の理由から優秀賞に値する論文である。

「視聴動機と動画形式の「フィット」に基づく動画視聴行動の拡張モデル —プロ野球動画を対象に—

菊池 巡

本研究では、メディア研究における Uses and Gratifications 理論を用いて、プロ野球動画の視聴行動に関する分析を行っている。先行研究を参考に、動画視聴動機と動画形式、視聴意向に関する概念モデルを提示し、仮説を立て調査を実施し、階層的重回帰分析で検証した点は評価できる。回帰分析、交互作用等の分析手法と解釈については概ね適切である。仮説が支持されなかった原因も考察しており、良い内容となっている。一方で、分析の前提となる社会調査に関する記載（調査対象の詳細、基本統計量、結果の概要など）は一部不十分であり、改善すべき点もある。

しかし、論点整理、分析方法、結果の解釈、考察に関する記載は論理的な論文構成となっており、優秀賞に値する内容である。

審査員一覧

第1次審査員一覧 (50音順)

赤穂 雄磨	石井 登	石川 業	石川 友和
市原 啓善	王 力勇	大津 晶	加賀田 和弘
片岡 駿	後藤 良彰	小林 広治	堺 昌彦
ジョーダン チャールズ	鈴木 和宏	須田 珠生	須永 将史
関 隆教	戴 秋娟	武部 エイミー	田中 晋矢
デバーク ヒラベ 良子	寺坂 崇宏	西村 友幸	沼田 ゆかり
林 弘晃	松家 仁	松本 朋哉	三浦 克宜
山田 政樹	李 昕翮		

(以上 30 名)

第2次審査員一覧 (50音順)

赤穂 雄磨	池田 真介	泉 貴嗣	猪口 純路
内田 純一	王 力勇	大津 晶	岡部 善平
長村 知幸	片岡 駿	片山 昇	木田 世界
木村 泰知	小泉 大城	小林 広治	小林 友彦
佐藤 剛	ジョーダン チャールズ	杉山 成	鈴木 和宏
須田 珠生	関 隆教	田島 貴裕	沼澤 政信
沼田 ゆかり	松本 朋哉	三浦 克宜	李 昕翮

(以上 28 名)